



令和4年8月15日

各 位

会 社 名 株式会社ピーエイ
代 表 者 代表取締役社長 垣内 康晴
(コード番号 4766: 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 経営管理部長 阿部 良一
(TEL 03-6885-1010)

営業外収益（助成金収入）及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和4年12月期第2四半期決算におきまして、下記のとおり営業外収益（助成金収入）を計上することとなりましたのでお知らせ致します。

また、令和4年2月18日に公表しました令和4年12月期第2四半期累計期間（令和4年1月1日～令和4年6月30日）及び令和4年12月期通期（令和4年1月1日～令和4年12月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益(助成金収入)の計上について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金の助成金収入等4百万円を営業外収益として計上致しました。

2. 令和4年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（令和4年1月1日～令和4年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 850	百万円 5	百万円 5	百万円 2	円 銭 0.19
今回修正予想 (B)	830	23	31	21	1.99
増減額 (B-A)	△20	18	26	19	
増減率 (%)	△2.3	360	520	950	
(ご参考) 前期連結実績 令和3年12月期第2四半期 累計期間	766	△62	△51	△253	△23.57

3. 令和4年12月期通期の修正（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,800	百万円 30	百万円 30	百万円 20	円 銭 1.86
今回修正予想 (B)	1,800	45	50	35	3.25
増減額 (B-A)	0	15	20	15	
増減率 (%)	0	50	66	75	
(ご参考) 前期連結実績 (令和3年12月期)	1,582	△60	△24	△280	△26.09

4. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、営業利益・経常利益・親会社株式に帰属する当期純利益ともに前回業績予想を上回ったことから、通期業績予想を上方修正いたします。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行やウクライナ情勢の長期化等による業績影響が不確実な状況下において、地域の採用需要は緩やかながらも回復の動きが見られるなど、各事業において順調に推移しました。

その結果、売上高は情報サービス事業、保育事業、地域創生事業において堅調に推移する中で、投下コストの改善や労働生産性の向上により営業利益が予想を上回って推移しました。また営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金の助成金収入等の計上により経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても予想を上回る見込みとなりました。

通期連結業績につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ウクライナ情勢や円安や物価高等の社会情勢が与える影響についても慎重に注視して参りますが、現時点における売上高については、引き続き足元の状況と同様に堅調に推移するものと見込んでおります。

一方、さらなる成長に向けたサービス開発や販路拡大への採用および人件費等についても投資をしてまいります。

当社としましては、今期の業績は順調に推移しており、黒字化への転換を機に地域活性化事業の拡大推進による高成長の実現を目指し取組んでまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しており、今後の市場動向等により変動する可能性があります。

以上